

仁保 笑楽考



令和6年5月10日
文責 山田英二
仁保小HP Q Rコード

笑顔で 楽しく 考える

小中合同研修会からパートⅡ～特色ある仁保小中一貫教育を進めます！～

前回の校長室だよりの1号に続いて小中合同研修会についてです。

今回の小中合同研修会では、今年度の小中一貫教育で「取り組みたいこと・進めたいこと」についてグループ協議を行い、以下のような内容が先生方から出されました。

・乗り入れ授業の推進

- ・小学校理科授業の参観(まずは見たい、知りたい)
- ・合同でできる授業・行事を増やす
- ・生徒を小学校に行かせて交流させたい
- ・小中みんなで遊ぶ(小1～中3)
- ・幼保小中の合同行事で、子どもたちの交流を図りたい
- ・地域行事に幼保小中で一緒に参加する
- ・仁保中の文化祭への小学生の参加→地域で幼保小中で行う(お祭りのイメージ)
- ・児童生徒が「わからない」「間違う」等の発言を肯定的に捉えられる授業づくり(雰囲気づくり)
- ・総合や外国語等で小学生が中学生や園児に伝える場(学習)
- ・合同行事等を通しての交流、ふれあい活動(今までのもの+新しい形)
- ・中学生が小学生に算数等を個別に教える場(学習)
- ・体力テスト、持久走など中学生の手本を見たい
- ・中学生の「すごい！カッコいい！」姿が見たい
- ・(幼保小中で)自分の学びや思いを伝える、聞いてもらう、教えてもらう学習活動
- ・小中で育みたい資質・能力「自分の言葉をわかりやすく伝える力」を具体的に共有する
- ・それぞれの授業の週末で学び合う・伝え合う活動を連続する、継続する
- ・幼保育園児の授業見学、幼保でのふれあい活動(たてわり活動)
- ・合同行事(運動会、音楽会)による中学生への憧れの気持ちの醸成
- ・小中教員でのレク・懇親会(教員間の距離を縮めることで児童生徒間の距離も縮まる)
- ・児童生徒が教え合う授業や活動
- ・中学校の保健委員による保健指導用DVDの作成
- ・小⇄中乗り入れ授業のスムーズな運営、カリキュラムマネジメント
- ・小中合同「睡眠検診」⇄「睡眠」をテーマにした合同学校保健安全委員会の開催
- ・子ども像「自分で考えて動く子」…健康課題・健康状態から生活習慣について自ら考え行動できる児童生徒の育成
- ・小中で「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組む
- ・小学校栄養教諭による専門性を生かした小5～中3への食育、家庭科授業への乗り入れ授業

ここに出された意見を、これから小中の
共通取組事項として実現可能なことから
取組を進めていきます！



小中一貫教育のメリットと効果

今年度も仁保小中一貫教育の特色である中学校教員の乗り入れ授業を進めていきます。

また、児童生徒と一緒に学ぶ英語等での合同学習を実現したいと考えています。中学生が小学生に教えることで中学生に自己肯定感の高まりや主体的な学び、学力の定着・向上が期待できます。小学生には憧れやめざしたい姿が具体的にになります。中学生に伝える場を仕組むことで、小学生にも学習への目的意識や主体的な学びの意識と学力向上が期待できます。合同学習によって効果的に育みたい資質能力の「自分の言葉でわかりやすく伝える力」を高めていきたいと思ひます。

～小中9年間を見通した学び～

なぜ、今小中一貫教育なのか

小中が目指すゴールを共有することで、より効果的な指導の実現が期待できます

未来



VUCAな時代
生き抜く資質能力



Volatility (変動性)・Uncertainty (不確実性)・
Complexity (複雑性)・Ambiguity (曖昧性)

小中一貫教育は手段。目的は…予測困難な未来を生き抜くための
パスポート(資質能力)をすべての子に